



東京都では14自治体が補聴器助成を実施

荒川区でも実現を！ 身近な聞こえの相談室を

一昨年の質問後も変わらない荒川区の状況

日本共産党区議団がこれまでも要望してきた補聴器助成。私も2019年の本会議質問で、荒川区の補聴器購入助成の検討推進状況を問いました。高齢者の聴力機能の低下は認知症の発症とともに、言葉のコミュニケーションが取りにくくなることから、外出の減少やうつ状態に陥ったり、社会的孤立を招いたりする危険性があると、区も認識しています。今後、研究していくとの答弁が当時ありましたので、予算特別委員会で改めて進捗状況を確認しました。

残念ながら、現在も認定補聴器専門店がない、「認定補聴器技能者」もないなど、状況が整っていないことがわかりました。



市場原理に任せておいても、荒川区内に自然に「補聴器専門店」が出来きる、「認定補聴器技能者」有資格者が来る、ということがないというのは、明らかです。

「補装具費支給事業」があるけれど、対象は重度の方

障がい者総合支援法に基づいて行われている補装具費支給事業で補聴器の交付された方も昨年は45件ありましたが、障がい者手帳がなくてはいけない、重度の難聴者が対象となっています。この制度が高齢者の聞こえの悪さに役立つとは言い難いです。

コロナ禍…高齢者の外出機会が減って老化が心配

コロナ禍で、特に年配の方は外出の機会が減っていて老化(フレイル)も心配です。特に難聴の方は家庭内でも孤独を感じてしまいます。難聴を放置していると認知機能が低下することが分かっています。専門家も指摘しています。難聴に早く気付くことが大切です。区もコロナ禍で高齢者が通院を控えることから聞こえの悪さに気づく機会が失われることも心配していると言っていました。



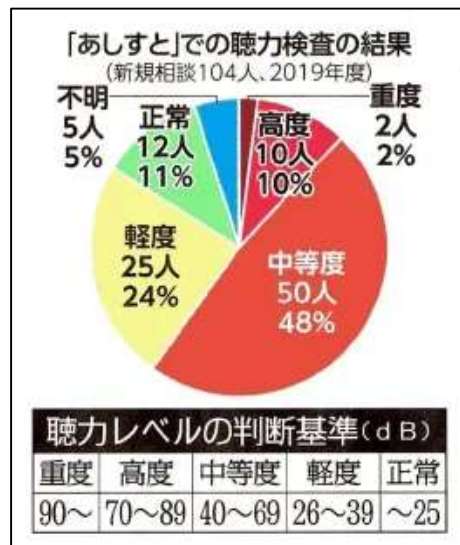
お隣・足立区では補聴器助成事業が始まりました

足立区では、2020年7月から、補聴器助成制度がスタートしました。対象は区内65歳以上の方。住民税非課税世帯

の人または生活保護受給者、中国帰国者支援給付受給者です。上限は2万5千円で1人1台1回限りです。昨年12月までで167件の申請があり、103件が認定されました。

足立区の障害福祉センターあしすと自立生活支援室では、毎週4日、国家資格を持つ国家資格の言語聴覚士による「聞こえの無料相談」を実施し、「聞こえのセミナー」も開いています。

ここでは申請前の相談ができるようになっています。言語聴覚士は「聴力検査だけでなく時間をかけて生活状況などをお聞きし、その人に合った補聴器を使っただけ」案内している。」そうです。



しんぶん赤旗 2021年2月10日号より

補聴器は購入後の調整が大事で、時間もかかります。そういった相談にも応じて、ひとりひとりに対応して生活向上につなげられているといいます。また、認知機能低下を防ぐためにも、早い段階での補聴器使用が大切です。

足立区で先駆的に設置したこのような身近

な聞こえの相談室。荒川区内の環境を整えるためにも、検討すべきではないでしょうか。

日本共産党東京都議団は、第1回定例会に「高齢者の補聴器購入費助成条例(案)」を提案しました。都内11自治体がすでに独自に補聴器助成を実施、来年度から3自治体が続きます。

高齢者補聴器助成実施中の自治体	2021年度から実施する自治体
千代田区	利島村
大田区	練馬区
中央区	豊島区
新宿区	足立区
文京区	葛飾区
墨田区	江戸川区
江東区	

荒川区議会では「加齢性難聴者への補聴器購入のための助成を求める意見書」を総意で出しています。東京都や国への補聴器助成の実現を今後とも求めるとともに、身近な自治体としてもケアするように、要望しました。



荒川自然公園に白鳥が戻ってきました

3月4日(木曜)、荒川自然公園の「白鳥の池」につがいの白鳥がやってきました。2018年に先代の白鳥が老衰で亡くなって以来、多くの区民から熱い要望があり、久々に白鳥を迎えました。約3年ぶりに「白鳥の池」で白鳥が泳ぐ姿を見ることができます。

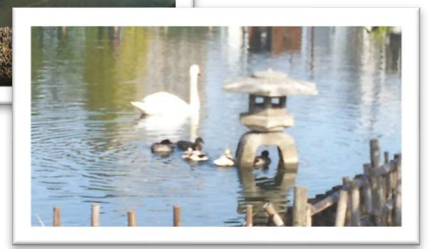


清掃の様子 区のHPより

白鳥を迎えるにあたり、区では30年以上清掃していなかった人工池・「白鳥の池」の清掃を実施しました。堆積していた大量の土により白鳥が泳ぐのに支障となることが予想されたため、これらを取り除き、きれいな水に入れ替え、白鳥が生活しやすい環境を整えました。池にはミシシippアカミガメ(ミドリガメ)やカエルなどが繁殖していたようです。

千葉県富里市にある動物飼育所から到着した2羽のコブハクチョウ。

「新しい環境で白鳥が寂しくならないように」との配慮からコールドックというアヒルもやってきました。2羽仲良く優雅に泳いでいる白鳥を見に行つてはいかがですか。



荒川自然公園

東京都下水道局三河島水再生センターの上に人工地盤を造って設置された公園です。昭和57年に「新東京百景」に選定され、東京都を代表する景勝地の一つとなっています。

開園時間: 3月 北側・中央地区 7:00~21:00 南側地区 7:00~17:00

4月~10月 北側・中央地区 6:00~21:00 南側地区 6:00~19:00

休園日: 第1・第3木曜日年末年始(12/29~1/3)ただし、4月は第2木曜と第3木曜になります。

高い国民健康保険料 値上げを抑える対策を



コロナ禍のもとで、暮らしも商売もたいへん厳しい状況になっています。しかも緊急事態宣言が延長された今、政治のやるべきことは、区民の暮らしを支援することです。

このような状況のもと、来年度の国民健康保険料が提案されました。均等割が800円値下げされましたが、所得割、介護分が値上げです。年金受給65歳以上で所得50万円以下が値下げになる以外は、ほとんどが値上げです。

国保は自営業・フリーランス、高齢者や非正規雇用労働者が入る保険で8割超が低所得層となっています。国庫負担や都や区の財政で支えなければ安定しません。

コロナ禍で減額・免除の適用を受けた方が1,340人、減免された金額は3億2500万円となっています。この時期の値上げはありえません。

荒川区の国民健康保険料の推移

	医療分+高齢支援分		23区1人あたり平均保険料	介護分(40才~64才)		荒川区一人あたり平均額
	均等割	所得割(%)		均等割	所得割(%)	
2021年度	52,000	9.54	124,989	17,000	1.98	40,879
2020年度	52,800	9.43	126,202	15,600	1.63	35,950

※所得割は【収入-給与所得控除、公的年金控除等 - 基礎控除】に対して乗じます。40歳から64歳は、医療+高齢支援分と介護分を合計した保険料になります。

国民健康保険料モデルケースにより試算から (年金受給者は医療分と支援金分 65歳未満は介護分含む)

	2021年保険料	2020年保険料	備考
年金受給者(65歳以上) 1人世帯: 年収303万円	195,100	195,250	介護保険料は別途年金天引き
年金受給者(65歳以上) 2人世帯: 年収303万円	247,100	247,050	
給与所得(65才未満)40歳の2人世帯: 年収359万円	368,400	358,000	医療+支援+介護
給与所得(65才未満)40歳夫婦・10歳の3人世帯: 年収359万円	420,400	410,800	医療+支援+介護

※給与所得の想定は、世帯主収入で、配偶者の収入ゼロ

今年度の所得階層別国民健康保険加入世帯数

旧ただし書き所得	0万円	~50万円	~100万円	~150万円	~200万円
世帯数	14,161	4,111	3,999	3,364	2,558
構成比	41.7%	12.1%	11.8%	9.9%	7.5%

※所得=旧ただし書き所得(前年の総所得及び山林所得金額、長期(短期)譲渡所得金額等の合計から基礎控除額33万円を控除した額

※所得200万円までの世帯が83.1%を占めています。(200万円以上は省略)

定例☆法律相談
 何でも・お気軽にどうぞ
 3月19日(金) 18時半~20時
 北村あや子事務所